



▲各地の特産品が並びました

秋冷の候、急に朝晩の気温が下がり始めました。私は早々とインフルエンザの予防接種を済ませましたが、皆様も風邪にはご用心下さいね。

◆11月2日の「大中遺跡まつり」は、さわやかな秋晴れとなりました。早朝より大勢の方々にご来場いただき、「古代の村」は一日中笑顔が行き交う賑やかな会場となりました。今年は新たに特産品市場を設けて、宮城県山元町、茨城県行方市、兵庫県淡路市、香美町や上郡町などからも出店していただきました。初めて設けたエリアのため来場者からは少しわかりにくく、今後の課題となりましたが、各地の珍しい物産にふれるいい機会となりました。来年もぜひご参加いただければと思っています。火起こしの儀で始まり、厳粛なものあり、今風なものあり、各地のゆるきゃらの出演もありで多様な催しが満載のステージでしたが、好天の下、今年も3万人以上の方々楽しんでいただきました。避難ウォークにご参加いただいた方々、半年以上前からご準備いただいた実行委員会、ボランティアの皆さまありがとうございました。

◆兵庫県立播磨南高等学校が今年創立30周年を迎えました。10月27日には厳粛な記念式典が行われましたが、播磨南高校は当時高校がなかった播磨町にぜひ県立高校をということで、住民や関係者が熱心に誘致され、実現したと聞いています。創立以来、優秀な人材を育成され、現在播磨町の各分野において、大きな役割を果たされている卒業生も数多くおられます。在校生も、町や諸団体の各種イベント、国際交流、クリーンキャンペーン、学校・園行事などでご活躍いただいております。今やまちにとってなくてはならない存在となっています。地域づくり、まちづくりの担い手として期待しています。

播磨町長 清水ひろ子

大中遺跡まつり 盛大に37,000人のにぎわい

大中遺跡まつり実行委員会 ☎079(435)5000

11月2日心地よい秋の好天に恵まれ、播磨町のふるさとのまつり大中遺跡まつりが催されました。



▲火起こしの儀のジャンボ舞割り



▲古代のムラのまつりムードを楽しむ観客



火納めの儀でまつりは終わる▶



▲食べる楽しみがいっぱいの古代村市場(模擬店)



▲古宮の獅子舞も披露されました

●町外からもたくさん出店されました



- 兵庫県カ国交流会議(篠山市、淡路市、猪名川町、播磨町、香美町)
- 宮城県山元町、茨城県行方市、朝来市ほか

楽屋裏

今月の表紙は、大中遺跡まつりでの一幕です。会場では、私がカメラを向けても気持ちよく応じてくれる方々がたくさん出会います。「あなたはオフイシャル(広報)なんだからもっと前に出て、いい写真を撮りなさい」と写真愛好家に教えられたり、ステージ出演者やそのご家族から撮影しやすい場所を譲られたりするご声援もありがとうございます。

早くから好位置を陣取って、カメラを構えている方の前を横切るのとはとても忍びないのですが、広報はりまに掲載する写真はそういう人々の温かさに支えられてお届けしているものです。いつも、お力添えをいただき、ありがとうございます。(宮)

はりま津波ひなんウォーキングを実施しました

危機管理グループ ☎079(435)0991

11月2日の大中遺跡まつりの開催にあわせ、防災イベント「はりま津波ひなんウォーキング」が催されました。大中遺跡公園は海拔15mという高い土地にあることから、大中遺跡公園と野添北公園は、津波避難目標地点に指定されています。今回の催しは避難経路を実際に歩いてみようという訓練を兼ねたイベントでした。

参加者のアンケート結果から、出発地点が比較的遠い南部コミセン区、東部コミセン区の方が避難に要した時間を見ると、30分以上かかることがわかりました。中には、50分以上かかる人も多くあり、実際の災害時の混乱を考慮すると十分な避難時間を確保できるかどうか難しいという様子が伺えました。

参加者からは、「実際に歩いてみて川の位置や知らない道を確認でき、所要時間もわかったのでやってみてよかった」という感想がきかれました。



ハロウィーンパーティーで大盛り上がり

播磨町国際交流協会 ☎079(435)0356

播磨町国際交流協会のハロウィーンパーティーが10月26日南部コミセンで催されました。参加したのは、4才~小学生の子どもたち39人。みんな色々な衣装で集合し、播磨町在住英語助手のカイルさん、ジェームズさん、エイミーさん。そしてヌビアさん、オードレーさんと一緒に、ハロウィーンのゲームやクラフトで楽しく過ごしました。

山元町からの手紙

今月は宮城県から全国の皆さまへの感謝のポスターをご紹介します。

「元気な今の姿」と「支援に対する感謝の気持ち」を発信するポスターが2種類作成されました。そのうちのひとつが、山元町の災害公営住宅入居者の方々を取り上げたものです。できるだけ多くの人に、この気持ちが届いて欲しいです。

大中遺跡まつりでも本当に多くの方々に山元



町のリンゴをご購入いただき、温かいメッセージもたくさんいただきました。「ありがとうございます。」の気持ちでいっぱいです。 廣岡千春

※震災復興支援のため、播磨町職員が宮城県亘理郡山元町に派遣されています

播磨町文化賞を贈呈しました

生涯学習グループ ☎079(435)0565

長年にわたり文化の継承と保存、また、文化団体の育成と指導に尽力され、文化の振興並びに向上発展に貢献された功績により、杉千恵子さん(東本荘)と平郡かよ子さん(北本荘)に播磨町文化賞を贈呈しました。

贈呈式は、10月27日に開催された播磨町文化祭の会場で行い、清水ひろ子町長から表彰状と記念品が贈られました。



▲受賞を喜ぶ杉さん(左)と平郡さん(右)

わんぱくはりまっこ



生後9ヵ月
とよしま えいと たいち
豊島 瑛人くん、太一くん
(北野添)

いつも可愛い笑顔をありがとう!
(父・母より)